



かぜはどこへいくの

シャーロット＝ゾロトウ 作

ハワード＝ノッツ 絵

まつおかきょうこ 訳

偕成社 1981年 1000円

「昼がおしまいになったらお日様はどこへいくの？」
「山はてっぺんまで行ったらどこへいくの?」。男の子の問いにお母さんは、この世のものでおしまいになるものは何もなく、別の場所で再び別の形で始まるのだと教えます。



がちょうのペチューニア

ロジャー・デュボワザン 作

まつおかきょうこ 訳

富山房 1999年 (初版1978年佑学社)
1400円

おばかさんのがちょうのペチューニアがある日、本を拾いました。本を持っているだけですから賢くなった気分のペチューニアがいい加減な助言をするので、まわりの動物たちはひどい目にあってしまいます。はじめ、1978年に佑学社より「おばかさんのペチューニア」として出版されました。シリーズには「ペチューニアのだいりょこう」などがあります。



きつね森の山男

馬場のぼる 作

こぐま社 1974年 1300円

きつね森のキツネと、キツネの毛皮をねらうさむがりの殿さまの戦争が始まりました。この戦争に巻き込まれた大根つくりの名人の山男は、毛皮よりもっとあたたまる方法を殿さまに教えてあげます。